2021 年5月 28 日

ニュースリリース

ブランディングテクノロジー株式会社

グループ会社のファングリー、WACUL と共同でコロナ禍における学習塾を決定するまでの行動プロセスを調査、全データをまとめたレポートを公表

ブランディングテクノロジー株式会社（代表取締役社長：木村　裕紀、本社：東京都渋谷区、証券コード：7067）の連結子会社である株式会社ファングリー（本社：東京都渋谷区、代表取締役：松岡　雄司）は、株式会社 WACUL（東京都千代田区、代表取締役 CEO：大淵　亮平、証券コード：4173）と共同で学習塾ユーザーに対してアンケート及びインタビューを行い、インターネット経由で学習塾を決定するまでのプロセスの実態を調査しました。その結果を公表いたします。

詳細を見る：https://fungry.co.jp/dl/jyuku-report/



【調査の背景】

ブランディングテクノロジーでは、これまでも WACUL 社とローカルビジネスやローカルマーケティングの共同研究を行い、ローカルビジネスにおける「勝ちパターン」を体系化し提供して参りました。今回はこれまでのローカルビジネスにおける勝ちパターンをベースに、今回は連結子会社のファングリー社が共同研究に参画。学習塾におけるインターネット経由で学習塾を決定するまでのプロセスの実態を調査しています。

これまで対面コミュニケーションが中心だった学習塾業界は、2020 年3月の小中高の臨時一斉休校や度重なる都市部での緊急事態宣言の発出など、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受けており、子供たちの学習環境の変化に伴ってニューノーマルへの早期対応が求められています。こうしたパラダイムシフトを踏まえ、学習塾の選定においてユーザーの意識や行動がどう変化しているのかについての実態を調査すべくアンケート及びユーザーインタビューを実施しました。

なおファングリー社は学習塾に特化したマーケティング支援サービスとして「塾マーケ」を展開しており、学習塾のマーケティングファネル（認知→興味関心→比較検討→入塾→満足→紹介）ごとの塾の課題に適したソリューションを提供しています。

▼調査レポートの結果はこちらから

https://fungry.co.jp/dl/jyuku-report/

© Branding Technology Inc.

なお、本件が業績に与える影響は現時点では軽微です。
今後、本リリースにより公表すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

＜ファングリーについて＞
ブランディングテクノロジー株式会社（証券コード：7067）の連結子会社として 2020 年 10 月に新設分割したコンテンツプロデュースカンパニー。コンテンツマーケティング領域、企業ブランディングに関わるクリエイティブ領域、自社メディアの運営を軸に事業を展開。クライアントビジネスの課題や目的、予算にあったプロジェクトチームと実効性の高いソリューションを提供しています。

会社概要
会社名：株式会社ファングリー
所在地：東京都渋谷区南平台町 15-13 帝都渋谷ビル 5F
設立：2020 年 10 月
代表者：代表取締役社長 松岡 雄司
資本金：20 百万円
URL：https://fungry.co.jp/

＜WACUL について＞
WACUL は、テクノロジー×ビッグデータで、企業のデジタルトランスフォーメーション(DX)を実現する様々な課題解決プロダクトを持つ DX カンパニーです。2010 年にデジタルマーケティングのコンサルティング事業を開始し、人工知能等を活用したデータアナリティクスの先進テクノロジーとコンサルティングを通じて蓄えた知見とを融合し、2015 年から「AI アナリスト・シリーズ」を提供、マーケティング&セールスの DX を通じて、クライアントの売上最大化を効率的に実現します。

会社概要
会社名：株式会社 WACUL（読み:ワカル）
本社所在地：東京都千代田区神田小川町 3-26-8 2F
代表者：代表取締役 CEO 大淵 亮平
URL：https://wacul.co.jp/

会社概要
ブランディングテクノロジー株式会社
設立日：2001 年８月
本社：東京都渋谷区南平台町 15-13 帝都渋谷ビル４F・５F
代表取締役社長：木村 裕紀
資本金：157 百万円

© Branding Technology Inc.

公式サイト：https://www.branding-t.co.jp/

【本件に関するお問い合わせ先】
株式会社ファングリー　塾マーケ事務局
担当：河島
Tel：03-5457-3938
E-mail：contact@fungry.co.jp

以上

© Branding Technology Inc.